

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2025年 7月 30日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあつては、名称及び代表者名）
京都府乙訓郡大山崎町大山崎小泉1番地	代表取締役 取締役社長CEO 池内 弘
	電話番号：075-925-8701

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015年度版
適用範囲	ピークルエナジージャパン（株）東京本社 ・ 佐和事業所 ・ 京都事業所
導入年月日	2020年 8月 26日
認証番号	EC20J0010
基本方針	①環境法令の順守と環境保全 ②環境パフォーマンスの向上 ③環境経営に特化したモノづくり推進 ④地域社会貢献活動 ⑤情報開示
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	地球温暖化防止を図るため省エネルギーの推進/化学物質管理の徹底/廃棄物量削減と水利用効率化を推進
目標を達成するための取組の内容	地球温暖化防止を図るため、省エネルギーを推進する ・生産効率向上によるエネルギー削減 ・省エネ運転の推進による電力使用量削減 ・化学物質管理の徹底とVOC排出量削減を推進する ・循環型社会に対応し、廃棄物の減量化、再利用再資源化を促進する ・設備改善による組立工程不良の低減 ・洗浄水の循環利用により水使用量低減を図る
目標を達成するための取組の進捗状況	1. AHU（空調機）ダンパー調整にて負荷低減 2. PACエアコン、搬送ファンの省エネ（運転台数削減、スケジュール運転） 3. コンプレッサー圧力低減（0.75⇒0.73MPa） 4. 空冷チラー待機電力削減（待機台数（3台）の電源切（夏季冬季除く）） 5. AHU（空調機）の風量調整（INV：60⇒50Hz） 6. 休日計画停電の実施：（佐和）と連携した活動 7. 環境活動報告会の開催による省エネ意識向上 ・頻度：1回/3ヶ月 ・環境活動の報告、各部の環境管理計画書の推進状況報告 8. 除湿機の露点緩和（-35℃⇒-25℃） 9. F棟 太陽光発電導入によるCO2削減 876MWh/年削減 ×0.429 t-CO2/MWh ×2.88倍の重みづけ 計1082 t-CO2削減
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画通り実施済
事業活動に係る法令の遵守の状況	順守状況は1ヶ月に1回、官公庁届出書管理台帳で確認を行っており、これまで違反及び行政当局からの指摘は無し。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについては、Q毎に環境活動報告会及び、1年に1回マネジメントレビューを実施している。 令和6年度の目標は全て達成。 令和7年度は新たな目標に向け取組中。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。